

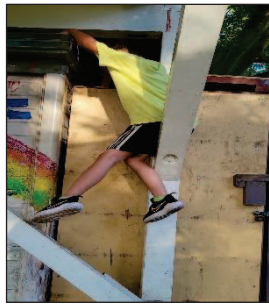


スレイリーダーから

皆様、いかがお過ごしでしょうか。5月から行われてきた、倉庫上の修繕作業もほぼ終わり、上に登って遊ぶことができるようになりました。

今回は、倉庫上やすべり台のことについて書いていきたいと思います。

倉庫上やすべり台、誰かが登っている姿を見ると、応援したくなり、自分も挑戦したい気持ちになりますよね。いざ、挑戦してみると意外と難しい。



すべり台や倉庫上は簡単に登れるように設計されてはいないんです。そのため、子どもに登ることを手助けしたくなる気持ちになりますよね。わかります。自分も手助けしたことがあります。上まで到達すると結構高い。

人には高さの恐怖が生まれ、降りられなくなってしまう子もいます。大人と一緒に降りるとしても、子どもを抱えながら降りるなど危険が増える行為が多くなると思います。

危険を増やさないためにも、自分の力で登らせるように誘導してあげてください。自分の力で登れたとしても降りられなくなってしまう子もいます。下ろしてあげる行為はなるべくしないようにして、降りるための方法を一緒になって考えるようにしています。

なぜなら、子どもたちが降りる方法を考えるきっかけに繋がれるから。

先日、すべり台で上から降りられなくなった子がいた。その子は友達と来ていて、前来ていた時は登り降りを繰り返して楽しく遊んでいたのに、その日は怖さを感じてしまって降りられなくなりました。自分に助けを求めてきたので降り方を考えたり、恐怖心を和らげようとしたものの、降りられない。一緒に来た友達が親を呼びに行くも不在。他の子の対応などで目を離していると「ていが降りられた！」と伝えに来てくれた。降り方を聞くと、「友達と協力して降りることができた」といっていた。子どもたち同士で考え、問題解決するって子どもたちの友情や成長するシーンなどが見られてとてもいいですね。

大人が手を加えていたら、見られなかった光景だと思います。子どもの力でできることはたくさんあって、中には登り方・降り方を教えたい子もいます。

いろいろな価値観・考え方を持っている子同士が関われるのもプレイパークの良いところですよ。子ども同士や一人でできることが増えると、すごく嬉しいと思います。そんな場面に遭遇したので時に何も言わず、見守っているだけの時もあります。

失敗だってしてもいいと思います。

失敗を恐れず、いろんなことを考えて挑戦できる環境を作っていきたいです。

大人は先回りの行動をせず、暖かく見守って

いろいろなことに子どもが挑戦、

考えられる環境を一緒に作っていきましょう。

